

所在地：滋賀県東近江市五個荘奥町160番地

事業概要：熱可塑性樹脂の射出成形、アルミフレーム安全柵の設計製作など



## ニジェール国における新太陽光発電システムの実証事業

### ◆ 海外展開に取り組み始めたきっかけ

国内市場でのソーラー事業の成長が鈍化する中、太陽光発電のポテンシャルが高いアフリカに着目しました。特にサブサハラ・アフリカでは慢性的な電力不足が続き、農村部の電化率は10%未満の地域もあります。弊社は、これらの課題を技術で解決し、持続可能な電力供給を実現することが、社会貢献とビジネス成長の両面で大きな機会になると考えました。モノづくりで培った技術を活かし、現地ニーズに合った製品を開発することで、アフリカの人々とともに成長することを目指し、海外展開を決断しました。

### ◆ 補助事業の内容

ニジェール共和国向けに、バッテリー不要の新型太陽光発電システムを開発・現地試験しました。アフリカ市場での経験を活かし、低コストかつ長寿命な製品が求められる現地ニーズに対応するため、従来製品よりも最高入出力を抑え、周辺機器のコスト削減も実現しました。

本事業では、遠隔指導を活用し、現地パートナーが主体となって現地での実証試験を実施。公開試験を通じ、住民に製品を体感してもらい、「バッテリーなしでも使えるのは画期的」「維持費が抑えられるのが魅力的」といった好意的な評価を得ました。

また、過酷な環境でも長期間使用できるように、熱処理能力や最高出力の安定性を検証し、機器を最適化。テストデータを整理し、現地パートナーと共有することで、製品理解を深め、技術力を武器にした販売・保守体制を構築しました。本事業を通じ、製品開発のみならず、市場適応性を高める貴重な知見を得ることができました。

### ◆ 今後の展望

本事業の知見を活かし、今後はニジェールだけでなく、サブサハラ・アフリカ全体へ事業を拡大していきます。特に、電力インフラが未整備の農村部や都市郊外での需要に応え、持続的なビジネスモデルを確立します。

今後も現地パートナーとの協力体制を強化し、販売ネットワークを拡大。小規模事業者への導入を促進し、経済発展に貢献しながら市場を広げることで、民間主導の持続可能なビジネスモデルを構築し、アフリカ市場でのプレゼンスを高めます。

